



越谷市 高橋市長 竜巻被災者への生活支援に全力で対応

9月2日に発生した巨大竜巻は越谷市内北部を横断し、全壊25、大規模半壊49、半壊114、一部破壊921、非住家等の計1442世帯が被災しました(9月25日現在 災証明発行件数)。

高橋越谷市長は、市議会の理解を得ながら、市が独自に被災者への賃貸家賃補助をはかる「家賃給付金制度」と「見舞金支給制度」の創設など、被災に遭われた市民の方への生活支援に全力をあげています。

高橋市長は、今回の竜巻災害を教訓に、地域防災力を強めていくとともに、避難施設や耐震性飲料用貯水槽の整備、備蓄体制の拡充、災害時要援護者・帰宅困難者支援体制の確立などの大規模災害対策に、さらに力を入れるとしています。



9月19日には、高橋市長が「竜巻による被害に関する要望書」を上田知事に提出(上写真:左が高橋市長)。私も藤林県議、藤沢県議と共に同席し、知事に県からの支援を求めました(下写真:奥が上田知事)。



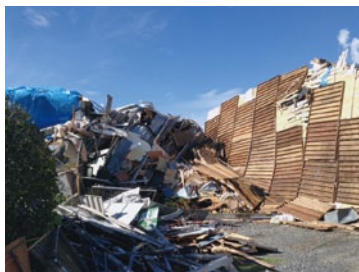
■要望書の内容とは…

高橋市長の要望書は、被災された方々の生活を早急に安定させるため、民間賃貸住宅を仮設住宅建設とみなす措置を求めるものです。

この権限は県にあり、市で決定することができません。県は、県営住宅を無償提供することにしましたが、それは元の住まいから遠く離れるため、通学の問題や、近所・地域との絆がなくなるという問題が生じます。そのため、近くの民間賃貸住宅を仮設代わりとし、その賃料を公費で賄うよう求めたのです。このような住宅を「みなし仮設住宅」と呼びます。

この要望は、被災者を支援しようと当事者からの話を聞いた市民団体からも寄せられていました。

私が所属する埼玉県議会「民主党・無所属の会」では、災害翌日の9月3日に現地視察を行い、8日まで瓦礫撤去のお手伝いを行いました。



被災現場を最初に自分の目で見たときは、その凄まじさに衝撃を受けました。



私は知人である被災地の自治会長さんと連携しながら、人手を必要としている場所に直行。夫のワゴン車を使って瓦礫の運搬などを行いました。

9月19日、午前中に衆議院災害対策特別委員会委員の視察団が越谷市を訪れました。私も同行させていただき、被災直後の状況をお伝えしました。

フェンスが竜巻ですっぽりと飛ばされている第二学校給食センターの屋上



屋根が吹き飛ばされて空が見えている北陽中学校の体育館

被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

8月19日～21日、四国の3県で視察

埼玉県議会
地方分権・行財政改革・新都心整備特別委員会

高知県高知市・ 高知医療再生機構 救急現場にモバイルシステム

高知県救急医療の充実を図るため、急患の搬送時に救急隊と医師の情報連携を支援するシステムを開発。現場の画像や正確な患者情報が医療機関に伝送され、より適性な処置が可能となるよう工夫が凝らされていました。

埼玉県における情報技術の活用に関する施策の参考になりました。



ドクターヘリ場外離着陸場

香川県善通寺市・ 四国こどもとおとなの医療センター 癒しの空間演出

2013年5月1日にオープンした「四国こどもとおとなの医療センター」は、「国立善通寺病院」と「国立香川小児病院」が統合された病院。国立病院・療養所の再編計画により、統合・縮小されたものの一つです。2階に救急車を同時に5台横づけで

きるように工夫されていた点や、女性デザイナーによるホスピタルアートが印象的でした。



各階のイメージカラーがあり、廊下や病室にも絵が描かれていて、癒しの空間でした。

香川県高松市・ 高松丸亀町商店街 新手法で商店街を復活

崩壊の危機にあったものを、地元住民中心の活動で復活した商店街。地権者の出資で作った「まちづくり会社」が全ての商店主と定期借地権契約を結んで、その使用権を取得し、同社が建物を整備・



所有するという「土地の所有と利用の分離」など、今までの商店街運営では考えられなかった様々な方法を行っていました。

徳島県徳島市・徳島県庁 徳島と写楽と越谷の 不思議な関係

徳島県は、四国でありながら歴史的、文化的、経済的に関西に近いこともあり、関西広域連合に参加し、地方分権改革の推進を図っているとの事でした。

■ 越谷市に「写楽」の墓？

ところで、徳島といえば「阿波の国」。阿波踊りで越谷とも深いご縁がありますが、「写楽」でもつながっていることをご存じですか？

そう、かの有名な、ナゾの浮世絵師といわれた「東洲斎写楽」です。

近年、「阿波藩お抱え能楽師・斎藤十郎兵衛」ということでほぼ決着がついたようですが、そのお墓が越谷にあるのです。

江戸で亡くなり埋葬された寺が、平成5年に越谷に移ったためです。不思議なご縁を感じますね。



写楽の墓と記念碑は、越谷市三野宮の「法光寺」(写真)にあります。



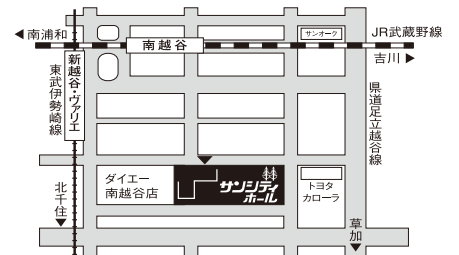
右が写楽の墓。左右に写楽の代表的な浮世絵の装飾があり、中央には過去帳(檀家の死者の氏名・死亡年月日・年齢などを記入した帳簿)の写しが彫られています。

医療・福祉・介護フォーラム

山本まさの会員の「安全・安心の越谷をめざす市民の会」が主催します。人と地域が支えあう「安全・安心の越谷」をめざすために、**自分の能力と存在が活かせる地域社会づくり**を、ともに考えます。

10月16日(水) 午後6時30分～ 越谷コミュニティセンター・小ホール

越谷市長 **高橋 努**
地域医療を考える市民の会
代表 **一ノ瀬加代子**
職場参加をすすめる会
運営委員 **日吉孝子**
地域の医療と介護を考える会
代表 **山本美紀子**



東武伊勢崎線「新越谷駅」・JR武蔵野線「南越谷駅」徒歩3分

医療・福祉・介護フォーラム
2013年10月16日(水) 於：越谷コミュニティセンター・小ホール 18:30～
主催：安全・安心の越谷をめざす市民の会 協賛：日2・2・1プロ・ビル1F 電話 048-964-2002